

# 博物館

## 1. 基本理念

- ・市民の創造性を高めます。
- ・郷土を大切にすることを育みます。
- ・世代をつなぎます。
- ・歴史を未来に活かします。
- ・学校教育をより豊かなものにします。

## 2. 施設の概要

- ・名称 四日市市立博物館
- ・所在地 四日市市安島一丁目3番16号
- ・開館年月日 平成5年11月2日
- ・敷地面積 1,845.840 m<sup>2</sup>
- ・建設面積 1,590.397 m<sup>2</sup>
- ・延床面積 10,147.108 m<sup>2</sup>
- ・建物構造 鉄骨鉄筋コンクリート造  
地下2F、地上6F

### ・主な室名と面積

展示・教育部門		2,156.155 m <sup>2</sup>
常設展示室	2 F	564.691 m <sup>2</sup>
常設展示室	3 F	454.618 m <sup>2</sup>
特別展示室	4 F	594.798 m <sup>2</sup>
ラウンジ	2～4 F	281.020 m <sup>2</sup>
情報コーナー	1 F	118.810 m <sup>2</sup>
講座室	1 F	142.218 m <sup>2</sup>
収蔵部門		1,256.230 m <sup>2</sup>
収蔵庫	B 2 F	243.290 m <sup>2</sup>
収蔵庫 前室	B 2 F	38.880 m <sup>2</sup>
収蔵庫	B 1 F	282.170 m <sup>2</sup>
収蔵庫	B 1 F	384.496 m <sup>2</sup>
収蔵庫 前室	B 1 F	76.086 m <sup>2</sup>
荷解室	1 F	231.308 m <sup>2</sup>
研究部門		430.207 m <sup>2</sup>
作業室	2 F	60.464 m <sup>2</sup>
資料整理室	B 1 F	84.370 m <sup>2</sup>
文献資料室	3 F	37.952 m <sup>2</sup>
資料評価室	4 F	33.300 m <sup>2</sup>
くん蒸室	B 1 F	43.070 m <sup>2</sup>
スタジオ暗室	B 1 F	87.510 m <sup>2</sup>
ビデオ編集室	B 1 F	16.882 m <sup>2</sup>
会議室	4 F	37.952 m <sup>2</sup>
会議室	3 F	28.707 m <sup>2</sup>
プラネタリウム部門		1,714.282 m <sup>2</sup>
客室(ドーム)	5 F～6 F	565.017 m <sup>2</sup>
天文学習室	5 F	59.081 m <sup>2</sup>
天文展示コーナー	5 F	194.763 m <sup>2</sup>
プラネタリウム事務室	5 F	59.326 m <sup>2</sup>
空調機械室	5 F～6 F	836.095 m <sup>2</sup>
管理・一般部門		4,590.234 m <sup>2</sup>
事務室	3 F	105.059 m <sup>2</sup>
館長室	2 F	37.001 m <sup>2</sup>



会議室	2 F	50.422 m <sup>2</sup>
ミュージアムショップ	1 F	28.723 m <sup>2</sup>
警備室	1 F	20.812 m <sup>2</sup>
中央監視室	B 2 F	44.064 m <sup>2</sup>
設備機械室	B 2 F	486.190 m <sup>2</sup>
電気室、発電機室		240.152 m <sup>2</sup>
倉庫、展示備品庫など		3,577.811 m <sup>2</sup>
プラネタリウム		1,714.000 m <sup>2</sup>
ドーム径 18.5m 傾斜型(傾斜度 20度)		
座席 155 席		
ヘリオス		
全天周映画 可能		

## 3. 展示等事業

### (1) 常設展示

博物館の常設展示は、基本テーマ「伊勢湾(うみ)と鈴鹿山脈(やま)のある四日市の文化と生活環境」をもとに地質時代から現代に至る「四日市のあゆみ」をその時代ごとの特色を生かし、テーマ1～テーマ6に分けて展示する。

各テーマのスペースでは、そのテーマのメインとなる展示とその他の詳細な展示に分け、展示資料に応じて実物や複製品、情景模型のほか映像や図表などで表現している。

また、文化勲章受章作家で、四日市市名誉市民の丹羽文雄の業績を永く伝えていくため丹羽文雄記念室を常設する。

#### ・テーマ1 北勢地域のおいたちと自然環境

テーマ展示では、本市平津町で発見されたアケボノゾウの臼歯の化石とその全身骨格の復元模型を展示している。

詳細展示では、「自然のすがた」「大地のおいたち」「化石は語る」など現在までの伊勢湾や鈴鹿山脈、伊勢平野の地形と地質の成り立ちや自然環境の様子を展示している。

#### ・テーマ2 原始・古代の人びとの生活

テーマ展示では、縄文・弥生・奈良各時代の集落の様子や古墳時代の前方後円墳の築造過程を情景模型で展示している。

詳細展示では、「石器を使った人びと」「土器を使った

人びと」「米づくりと青銅器の製作」「大和朝廷と北勢地域」「古墳の築造と渡来人の活躍」「律令国家への道」など、旧石器時代から縄文・弥生・古墳・飛鳥・奈良時代を経て平安時代までの人々の生活の様子を展示している。

・テーマ3 『四日市』と『四日市庭浦』の成立

テーマ展示では、市名の由来となった中世後期の市や町並みの様子を推定復元し、情景模型で展示している。

詳細展示では、「中世の武士と商人」「伊勢湾諸湊と四日市庭浦」「くらしと生活用具」「いのりと信仰の世界」など、「四」のつく日に定期的に市が開かれて、『四日市』の名称が起ったこと、伊勢湾の水運にも『四日市庭浦』が重要な役割を果たしたことを中心に鎌倉時代から安土桃山時代までの様子を展示している。

・テーマ4 東海道と伊勢参宮道の賑わい

テーマ展示では、情景模型に映像を内蔵した特殊映像装置を用い、東海道と伊勢参宮道の分岐点である日永の追分の賑わいを再現している。

詳細展示では、「近世への胎動」「宿場と東海道」「四日市湊と町の展開」など四日市が東海道五十三次の四十三番目の宿駅として、また日永が伊勢参宮道との分岐点として発展してきた江戸時代の様子を展示している。

・テーマ5 四日市港と近代産業の発展

テーマ展示では、大正時代の市中心部の装置模型や旧四日市港の潮吹き堤防の情景模型を展示している。

詳細展示では、「みなとの整備」「近代のくらしと社会」「地場産業と近代産業」など本市の近代化の大きな礎となった四日市湊の改修と機械生産の技術導入による製糸をはじめ製茶、製綱、製油、萬古焼の地場産業に焦点を当て、また、幕末、明治以降から市制を施行し次第に市域を拡大していく昭和初期までの近代の様子を展示している。

・テーマ6 戦災からの復興と都市の創造

テーマ展示では、本市の重要な産業である石油化学工業を映像や装置模型で展示している。

詳細展示では、「戦後のあゆみ」「港湾産業都市としての再生」「石油化学工業」「四日市港の輸出入」など。また情景模型に映像を内蔵した特殊映像装置を用いて甚大な被害をもたらした四日市空襲とその後の復興を再現するとともに、産業都市として再生してきた現代の様子を市民生活と産業の二つの視点から取り上げている。

・コーナー展示 浮世絵四日市・四日市祭り

四日市が描かれた浮世絵と、戦前には「東海三大祭り」のひとつに数え上げられた四日市祭りの代表的な山車や練り物を縮尺1/20と1/40の復元模型で展示している。

・丹羽文雄記念室

文化勲章受章作家で、四日市市名誉市民の丹羽文雄(平成17年4月逝去)の足跡と業績を紹介している。丹羽作品の初版本や豪華本を始め、芸術家のための健康保険組合の創設、「文学者の墓」の建立など、文学者の社会的地位の向上に尽力し、日本文藝家協会理事長を長く務め

た功績などを展示している。

また、20数年にわたって丹羽が私費を投じて刊行した雑誌「文学者」の同人たちが集った丹羽邸応接間も再現されている。

(2)特別展・企画展

「恐竜と生命の大進化～中国雲南5億年の旅～」展

・期 間：平成19年4月21日(土)から  
6月24日(日)までの56日間

・入場者： 15,058人

・関連行事(恐竜全身骨格標本公開組み立て)

[場所：エントランスホール]

日 時	平成19年4月15日(日)	13:00~16:00
-----	---------------	-------------

・関連事業(講演会)

[場所：講座室]

演 題	「雲南の恐竜」	
-----	---------	--

日 時	平成19年4月28日(土)	14:00~15:30
-----	---------------	-------------

講 師	松岡 敬二(豊橋市自然史博物館)	
-----	------------------	--

・関連行事(展示会のみどころ紹介)[場所：展示室内]

日 時	会期中の土・日・祝	14:00~14:30
-----	-----------	-------------

講 師	当館企画普及係	
-----	---------	--

・関連事業(恐竜化石発掘体験)

[場所：展示室内]

日 時	会期中の土・日・祝	10:00,10:40, 14:30,15:00
-----	-----------	-----------------------------

講 師	当館企画普及係	
-----	---------	--

「ロンドン発! ゆかいなからくり人形」

・期 間：平成19年7月14日(土)から

9月2日(日)までの44日間

・入場者： 10,938人

・関連事業(講演会)[場所：講座室]

テ ー マ	「イギリスの風変わりなユーモア」	
-------	------------------	--

日 時	平成19年7月21日(土)	14:00~15:30
-----	---------------	-------------

講 師	デービッド・サムワース	
-----	-------------	--

テ ー マ	「THE ENGLISH ECCENTRIC」	
-------	-------------------------	--

日 時	平成19年7月22日(日)	14:00~15:30
-----	---------------	-------------

講 師	デービッド・サムワース	
-----	-------------	--

「伊藤利彦の見た世界～絵画からレリーフへ」展

- ・期 間：平成19年9月15日(土)から  
10月21日(日)までの32日間
- ・入場者： 1,838人
- ・関連事業(子ども博物館教室) [場所：講座室]

テ ー マ	造形作品をつくろう
日 時	平成19年10月21日(土) 10:00～12:00
講 師	野口 裕(当館指導主事)

- ・関連行事(展覧会のみどころ紹介) [場所：展示室内]

日 時	会期中の土・日・祝 14:00～14:30
講 師	当館企画普及係

「故郷からのおくりもの  
～高橋まゆみ創作人形の世界～」展

- ・期 間：平成19年11月3日(土・祝)から  
12月9日(日)までの32日間
- ・入場者： 6,682人
- ・関連事業(ミュージアムシアター)[場所：展示室内]

テ ー マ	むかし語りと和楽器のコラボレーション
日 時	11月10日(土) 13:00～ 15:00～
講 師	現代邦楽奏団グループ竹友(とも)

- ・関連事業(ミュージアムコンサート)[場所：展示室内]

テ ー マ	ミュージアム コンサート
日 時	11月17日(土) 13:00～ 15:00～
講 師	西みほ・小川長一郎

「昭和はくぶつかん ～懐かしい暮らしの道具～」

- ・期 間：平成19年12月22日(土)から  
平成20年3月2日(日)までの55日間
- ・入場者： 11,464人

「第49回 北勢地区高等学校美術展」

- ・期 間：平成20年3月18日(火)から  
3月23日(日)までの6日間
- ・入場者： 600人

(3)特別陳列・学習支援展示

特別陳列「新収蔵品展」

- ・期 間：平成20年3月29日(土)～4月13日(日)
- ・場 所：3階サルビアギャラリー

学習支援展示

- 平成19年4月21日(土)～6月3日(日)  
「大昔の四日市 - 弥生時代と古墳時代」
- 平成19年6月16日(土)～9月2日(日)  
「四日市空襲と戦時下の暮らし」
- 平成19年10月13日(土)～12月2日(日)  
「萬古焼のはじまり  
～印から見た古萬古・有節萬古のかたち～」
- 平成19年12月22日(土)～平成20年3月2日(日)  
「むかしの暮らし」

4. 教育普及事業

(1)文学にであう

- テーマ：鑑賞・田村泰次郎の戦場小説 [場所：講座室]

日 時	平成19年6月9日(土)・6月16日(土) 6月30日(土)・7月7日(土)
	14:00～15:30
講 師	尾西康充(三重大大学教授)

(2)ミュージアムセミナー

- テーマ：まつり [場所：講座室]

6月23日	土	古墳が語る まつり	講師/大阪府文化財センタ ー理事長 水野正好
8月4日	土	山車からみ た石取祭	講師/元京都学園大学教授 植木行宣
10月20日	土	風水で解く まつり行事	講師/南山大学教授 目崎茂和
12月15日	土	ピラミッド のまつり	講師/古代エジプト研究家 イブラヒム・モハメド
2月16日	土	まつりと芸 能の発生論 ～折口信夫 の思惟～	講師/奈良大学教授 上野 誠

(3)子ども博物館教室

ワークショップ(全6回)

[場所:講座室及び館内]

5月19日	土	化石博士になろう	当館指導主事 野口 裕
6月16日	土	四日市空襲のおはなしを聞こう	
7月21日	土	博物館を探検しよう!	当館学芸員 中野千幸
7月28日	土	からくりおもちゃを作ろう	
10月20日	土	造形作品をつくろう	
11月24日	土	ふるさと発見 私の物語	

古代米づくりと土器づくりシリーズ(全7回)

5月12日	土	古代米の田植え	当館学芸員 中野千幸
6月2日	土	土器づくり	
7月7日	土	田の草取り	当館指導主事 野口 裕
8月4日	土	土器の野焼き	
10月6日	土	石包丁で稲刈り	
11月4日	日	たて杆と臼で脱穀	
11月17日	土	土器で炊飯	

むかし体験シリーズ(全6回)

1月12日	土	暮らしの道具を つかってみよう	当館指導主事 野口 裕
2月3日	日		
1月19日	土	昭和っ子の あそびをしよう	当館学芸員 中野千幸
2月17日	日		
1月26日	土	おやつをつくろう	
2月23日	土		

(4)教員のための体験的博物館研修

8月21日	火	教員のための 体験的博物館研修	当館企画普及係 職員
-------	---	--------------------	---------------

5.資料収集・保存

(単位:件)(平成20年3月末現在)

区	実物・標本		模写
	分	本	型
1 人 文 学 資 料	(1)考古	966	20
	(2)美術工芸	1,554	10
	(3)民俗	4,291	10
	(4)歴史	6,949	37
	(5)文学	2,746	0
	(6)その他	78	9
	計	16,584	86
図書	7,949	写真 67	その他 110

区	実物・標本		模写
	分	本	型
2 自 然 科 学 資 料	(1)動物資料	0	0
	(2)植物資料	3,272	0
	(3)地学資料	93	2
	(4)理工学資料	0	0
	(5)天文資料	7	0
	(6)その他の資料	0	1
	計	3,372	3
図書	511	写真 59	その他 10

6.プラネタリウム事業

季節番組を二種類(一般向けと家族向け)に分け、放映方式を継続・充実させた。一般向け番組は自主企画で制作し、50分間のフルライブ解説とした。また、星空をゆっくりと眺めたいといわれる市民のニーズに応えるために、季節を代表する星座を月替わりに紹介する「星座神話番組～神話の星めぐり～」を放映した。また、家族向け番組は、子どもたちに人気のあるキャラクターが登場する作品を採用した。

市民が天文・科学をより詳しく学習する機会として、「宇宙塾」を年4回実施した。その他、聴覚障害者にも配慮した字幕付き放映、園児や児童を対象とした学習放映、各種コンサート、香りと星空を楽しむ新企画「アロマと星の旅」を実施した。

天文普及活動では、番組と関連をもたせた展示や観望会の実施、子ども天文教室、少年自然の家との連携事業、科学技術振興機構(JST)による地域科学館連携支援事業など各種の事業を実施し、幅広く天文の普及に努めた。

プラネタリウム投映事業

(1) 季節番組

平成19年6月2日(土)～平成20年5月31日(土) 星座神話番組:神話の星めぐり 6月「てんびん座」、7月「さそり座」、8月「いて座」、 9月「やぎ座」、10月「みずがめ座」、11月「うお座」、 12月「おひつじ座」、1月「おうし座」、2月「ふたご座」、 3月「かに座」、4月「しし座」、5月「おとめ座」
平成19年2月3日(土)～5月27日(日) 冬春番組:(一般)「なんてん物語」 (家族)「忍たま乱太郎 ～星に誓った友情物語の段～」
平成19年6月2日(土)～9月30日(日) 夏 番組:(一般)「クイズで挑戦! 『太陽系 ふしぎ発見!』」 (家族)「あつまれ! ポケモン・プラネットセンター」
平成19年10月6日(土)～平成20年1月27日(日) 秋冬番組:(一般)「流星群の夜」 (家族)「ぜんまいざむらい - こよいからくり天文館開演! -」
平成20年2月2日(土)～5月25日(日) 冬春番組:(一般)「おじいさん おばあさんが伝えた ふるさとの星」 (家族)「ムーミン谷の物語 ～星と花のセレナーデ～」

上記 ～ の番組については、各1回字幕付き投映を実施

(2) 学習番組(団体利用投映)

・平日の午前 10:00 11:00
・保育園、幼稚園、小・中学校、高校等の団体対象
・季節の星座を中心に、年齢・学年に応じた、生解説による 双方向型の学習用プログラム

< 季節番組・学習番組の投映時刻 >

平日 (午前は団体のみ)	学習 10:00 11:00	一般向け 13:20	星座神話 14:40	
土曜日 春夏冬休みの 平日	家族向け 10:30	家族向け 13:20	一般向け 14:40	星座神話 16:00
日曜日・祝日 春夏冬休みの 土・日・祝日	家族向け 10:30	家族向け 13:20	一般向け 14:40	家族向け 16:00

4月17,18,19,20日の11:00～11:50と22日の16:00～16:50、  
5月15,16,17,18日の11:00～11:50と20日の16:00～16:50  
のみ、「アロマと星の旅」を実施

(3) 特別番組

「宇宙塾」～天文楽しませんか?～ (全4回) ・16:30～18:00 ・天文学最前線で活躍中の研究者を講師として迎えて、最新 の話題や実験質問、体験講座を織り交ぜた、プラネタリウム 特別版 平成19年5月19日(土) 講師:名古屋大学大学院教授 福井 康雄 「なんてん物語スペシャル」 平成19年9月1日(土) 講師:JAXA 教授 川口 淳一郎 「はやぶさ ～太陽系大航海時代にむけて～」 平成19年12月1日(土) 講師:天文研究家 浅田 英夫 「流星と彗星の深い関係」 平成19年8月20日(月) 講師:岐阜大学教育学部教授 川上 紳一 「教員のための宇宙塾 ～太陽系の構造と歴史をよむ～」
---

は、プラネタリウム指導者研修会と兼ねて実施

アロマと星の旅(全10回) ・平日11:00～11:50と日曜日16:00～16:50 (4月17・18・19・20・22日、5月15・16・17・18・20日) 虹の国・南アフリカ紀行 「グレープフルーツの香りと南天の星空」
---

星空生演奏コンサート (全3回) ・19:00～20:30 平成19年7月6日(金) 「七夕コンサート」 演奏:マリンパアンサンブル 平成19年9月21日(金) 「お月見コンサート」 演奏:祥子 & Radish 平成19年12月21日(金) 「クリスマスコンサート」 演奏:JAZZ(太田邦夫カルテット+西みほ)
---

星空CDコンサート (全4回) ・19:00～20:00 平成19年6月15日(金) 初夏の星と「平井堅特集」 平成19年8月10日(金) 沖縄の星と「夏川りみ特集」 平成19年11月9日(金) 昭和の星空と「彗星GS(グループサウンズ)特集」 平成20年3月7日(金) 早春の星と「コブクロ特集」
--

クリスマス特別投映 (全4回)
・10:30～11:20, 13:20～14:10, 14:40～15:30, 16:00～16:50 平成19年12月25日(火) 「アロマとクリスマスの北欧の風景とオーロラ映像」

10:30の投映は、家族向け番組「ぜんまいざむらい」を実施

#### 天文普及事業

子ども天文教室 (全2回)
夏コース 日時:平成19年8月18日(土)11:30～15:30 内容:天文工作(7種類) きらら号での木星観望会18:30～20:00 3D立体映像投影一般公開
冬コース 日時:平成20年2月24日(日)11:30～15:30 内容:天文工作(3種類) きらら号での太陽観望会

公開観望会
ペルセウス座流星群観望会 日時:平成19年8月12日(日) 19:00～21:00 場所:星の広場(水沢町) 皆既月食を見よう! 日時:平成19年8月28日(火) 18:00～21:00 場所:博物館前市民公園 木星を見よう! 日時:平成19年9月1日(土) 19:00～20:30 場所:博物館前市民公園 ふたご座流星群観望会 日時:平成19年12月14日(金)、15日(土)19:00～21:00 場所:伊坂ダム 天候不順のため中止

JST 機関活動支援事業(自然学校みえとの連携事業)
ございしょナイトミュージアム 日時:平成19年8月11・12日(土・日)1泊2日 活動場所:博物館プラネタリウム、御在所岳山上 宿泊場所:御在所岳山上「レストラン アゼリア」

少年自然の家との共催による観望会
アウトドアセミナー2 ～望遠鏡の製作と星空観察会～ 日時:平成19年8月24日(金) 場所:少年自然の家 スペースキャンプ ～プラネタリウム観覧と天文工作、星空観察会～ 日時:平成19年12月8・9日(土・日) 場所:博物館、少年自然の家

とも移動天文車「きらら号」での星空観察会を実施

プラネタリウム指導者研修会
・教育センターと共催で、教員と市民を対象 教員のための宇宙塾 平成19年8月20日(月)14:00～16:30 講師:岐阜大学教育学部教授 川上 紳一 手づくりプラネタリウムの製作 平成19年8月27日(月)13:00～16:00 講師:天文係

JAXA(宇宙航空研究開発機構)との共催事業
宇宙教育ボランティアのための指導者実践講座 ～リーダーズセミナー～ 日時:平成20年2月9日(土)9:40～17:00 場所:1階講座室

学校との連携授業
・市内、三重郡の小中学校を対象に、出前授業を実施 「バーチャル星空探検」 平成19年10月の火・水・木・金曜日 対象:小学校4年生 内容:月の動きやスペースシャトルと国際宇宙ステーションについて、立体映像装置を用いて学習する。 実施校数:11校(市内9校、三重郡2校) 移動式プラネタリウム 平成19年11・12月、平成20年1月の平日 対象:中学校3年生 内容:星の日周運動、年周運動、異なる緯度での太陽の見え方や金星の満ち欠けについて、学習する。 実施校数:16校(市内13校、三重郡3校)

#### 7. 移動天文車「きらら号」事業

口径20cmの天体望遠鏡をのせた移動天文車による星空観望会を実施した。天文ボランティアの方々の協力を得て、子どもから大人まで多くの人に実際の宇宙の姿を眺めていただいた。

##### (1) 自主事業

きらら号 スターウォッチング
土星と月を見よう! 日時:平成19年4月28日(土) 19:00～20:30 場所:市民公園(博物館前) サンデー太陽観望会 日時:平成19年5月13日(日) 10:00～15:00 場所:四日市ドーム前 金星と土星を見よう! 日時:平成19年5月19日(土) 19:00～20:30 場所:市民公園(博物館前) サンデー太陽観望会

日時:平成 19 年 6 月 3 日(日) 10:00~15:00

場所:楠緑地公園

金星と土星を見よう!

日時:平成 19 年 6 月 9 日(土) 19:30~21:00

場所:富双緑地公園

木星と月を見よう!

日時:平成 19 年 7 月 24 日(火) 19:30~21:00

場所:イオン四日市北店

サンデー太陽観望会

日時:平成 19 年 8 月 5 日(日) 10:00~15:00

場所:四日市港(ポートビル前)

木星と月を見よう!

日時:平成 19 年 8 月 18 日(土) 18:30~20:00

場所:市民公園(博物館前)

サンデー太陽観望会

日時:平成 19 年 10 月 21 日(日) 13:30~15:00

場所:市民公園(博物館)

粟名月を見よう!

日時:平成 19 年 10 月 23 日(火) 18:00~20:00

場所:イオンパワーシティー四日市

月を見よう!

日時:平成 19 年 11 月 18 日(日) 18:00~20:30

場所:ジャスコ四日市尾平店

サンデー太陽観望会

日時:平成 19 年 11 月 25 日(日) 13:30~15:00

場所:市民公園(博物館)

すばると火星を見よう!

日時:平成 19 年 12 月 1 日(土) 18:30~20:00

場所:市民公園(博物館)

サンデー太陽観望会

日時:平成 20 年 1 月 6 日(日) 13:30~15:00

場所:市民公園(博物館)

火星と冬の大三角を見よう!

日時:平成 20 年 1 月 12 日(土) 19:00~20:00

場所:桜地区運動広場

月と火星を見よう!

日時:平成 20 年 2 月 16 日(土) 18:00~20:00

場所:日永カヨー

サンデー太陽観望会

日時:平成 20 年 2 月 24 日(日) 13:30~15:00

場所:市民公園(博物館前)

稼働予定件数は 22 件(自主事業のみ)

参加者数 2,706 人

参加ボランティア数 延べ 134 人

## (2) 派遣事業

要請により市内各地へ出動し、天文ボランティアの協力を得て観望会を行った。

「きらら号」稼働状況(派遣事業のみ)

稼働予定件数 30 件(うち派遣回数 20 回)

参加者数 1,984 人 ボランティア数 延べ 90 人

## 8. 開館時間等

### 開館時間

午前 9 時 30 分から午後 5 時まで

(ただし入館は閉館の 30 分前までに)

### 休館日

月曜日(休日の場合は翌日)及び年末年始

館内整理期間(9 月上旬)

### 観覧料金

区分	博物館特別展示	プラネタリウム	プラネタリウム特別番組
一般	その都度定める額	530 円	その都度定める額
高大生	無料	370 円	
小中生		200 円	

20 名以上の団体は 8 割

博物館常設展示は無料

### 施設利用

	9~12 時	13~17 時	9~17 時
特別展示室 595㎡	-	-	31,500 円
講座室 142㎡	8,400 円	12,600 円	21,000 円
市民ギャラリー 94㎡	-	-	2,100 円

観覧料等を徴収する場合は、100 分の 50 を乗じて得た額を加算する。

博物館の設置目的に反しないもの、事業に支障のないものに限る。

商業宣伝、営業行為には使用できない。

9. 月別入館者数

(単位：人)

月	常設展		特別・企画展		プラネタリウム		月 計	
4月	26日	2,857	9日	3,584	23日	68回	1,556	7,997
5月	26日	4,512	26日	5,835	22日	66回	1,701	12,048
6月	26日	4,488	21日	5,639	25日	94回	5,521	15,648
7月	26日	3,163	15日	2,700	26日	98回	5,822	11,685
8月	27日	5,601	27日	7,414	27日	111回	8,968	21,983
9月	17日	1,433	16日	1,464	17日	57回	2,473	5,370
10月	26日	1,779	18日	1,198	23日	78回	3,142	6,119
11月	26日	3,043	24日	4,620	26日	88回	3,603	11,266
12月	22日	1,496	12日	2,442	19日	63回	1,929	5,867
19年1月	24日	2,624	24日	4,824	20日	68回	2,640	10,088
2月	25日	3,333	25日	5,540	24日	90回	2,691	11,564
3月	26日	1,672	2日	720	23日	79回	1,880	4,272
合計	297日	36,001	219日	45,980	275日	960回	41,926	123,907

[参考]

過去3年間の入館者数

年度	常設展		特別・企画展		プラネタリウム		合計人数
18	297日	30,978人	175日	33,098人	276日	35,264人	99,340人
17	296日	24,171人	216日	26,940人	273日	42,519人	93,630人
16	299日	22,626人	206日	29,498人	278日	32,333人	84,457人